

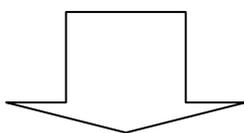
# 平成 25 年度天王寺区 運営方針の実績・評価について

天王寺区区政会議

平成 26 年 7 月 31 日(木)

○区の目標（何をめざすのか）

- 1 みんなの「思い」が区政に反映されているまち
- 2 未来を担う人材が育成されているまち  
～日本一の文教「都市」の実現～
- 3 「命を守る政策」がしっかりと進められているまち
- 4 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち



以上の実現をめざした、平成 25 年度を取組を報告します

## ～経営課題 1 区民の声集約プロセスの強化～

### ■ 「区政会議」「区民モニター(区政評価員)」「あなたの声をつなげ隊」を通して、区民の声を区政に反映

《実績》

- 区政会議(合同会議)2回 有識者会議懇話会2回 戦略会議2回 戦略会議懇話会1回
- 区民モニター(区政評価員) モニター数494人 調査回数3回〔区将来ビジョンにおける取組、など〕
- つなげ隊による意見聴取〔子育てに関する意見聴取1,405件 独居高齢者等への見守りへの意見聴取2,047世帯〕



### ■ 「様々な広報媒体を活用した区長による情報発信」による、区施策の説明と区民意見・評価の把握

《実績》

- 区広報紙の1面での区長による新規施策の紹介(8回)
- 区政報告会の開催(25年8月9日)
- 区ホームページ、フェイスブックで新規施策を随時紹介

### ■ 「地域別の課題の共有化と解消」に向け、地域担当制の充実

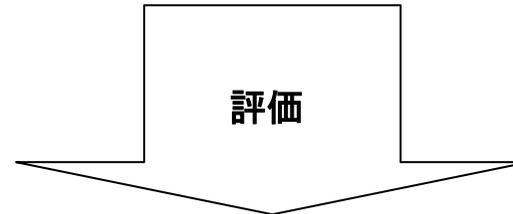
《実績》

- 9地域に地域担当職員を配置し、中間支援組織と連携して地域活動を支援

## ■「職員づくり、人材マネジメントにかかる基本方針に沿った取組の推進」による、改革を担い支える職員づくり

《実績》

- 天王寺区職員塾の開催(6回)〔区将来ビジョンの実現に向けて、家具転倒防止器具取付事業について、など〕
- 接遇に関する窓口アンケートの実施(3回)
- 窓口アンケートをふまえた接遇研修の開催(3回)



- ・ 区政会議や区民モニター(区政評価員)、「あなたの声をつなげ隊」などにより区民の意見・評価をいただけるよう取組を行いましたが、施策・事業などの区民への周知・広報が課題でした。  
〔参考〕 区政に関する情報が区民に届けられていると感じる区民の割合 29.2%(目標値 60%以上)
- ・ このことから、読みやすい紙面をめざして広報紙のリニューアルを行うとともに、「あなたの声をつなげ隊」の活動などを広報紙で紹介するなど、情報発信の取組を強化します。
- ・ また、地域担当制についてはより効率的・効果的な取組となるよう、中間支援組織との連携強化を図っていきます。

## ～経営課題2 日本一の文教「都市」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用～

■「社会教育機会の充実」「公立塾(仮称)の設置の検討」「留学生との社会・文化・経済等多分野での交流」を通して、

### 地域の未来を担う人材の育成

《実績》「社会教育機会の充実」

○中高生向けインターンシップ 11人参加



○小学生向け社会の仕組みを学ぶ体験学習プログラム 304人参加



○天王寺区ジュニアクラブ ボランティア等の活動年5回 新規登録会員数36人 年間1回以上活動に参加した会員数71人



[備考]「公立塾(仮称)の設置の検討」「留学生との社会・文化・経済等多分野での交流」は実施を見合わせ、グローバル時代に対応できる人材を育成するため、平成26年度新規事業の「英語による即興型ディベートスクール事業」へ再構築

## ■「子どもの将来のための投資の促進」「子育てナビゲーション」「保育サービスの充実」による、

### 子育てに関するきめ細やかな支援や情報提供、保育所待機児童の解消

#### 《実績》

- 子どもの将来のための投資の促進に向け、子育てスタート応援事業(平成26年度新規事業)の創設
- 子育て相談窓口でのナビゲーションシートを活用した「子育てナビゲーション」の実施 20件
- 保育ママの開設3か所 保育所本園整備1園

待機児童数推移 平成24年4月(35人)→平成24年10月(114人)  
→平成25年4月(19人)→平成25年10月(21人)→平成26年4月(20人)



保育ママあかつき

#### 評価

- ・社会教育機会の提供や子育てバウチャーの企画など、地域の未来を担う人材育成をめざした新たな取組を着実に進めることができました。
- ・今後は利用者の満足がさらに得られるよう、対象となる子ども・保護者のニーズを把握し、的確な教育機会・子育て情報の提供〔参考：子育てナビゲーション.NET事業(平成26年度新規事業)〕に努め、日本一の文教「都市」をめざした人材育成の取組の推進を図るとともに、保育サービスの充実を図り、保育所待機児童解消をめざします。

## ～経営課題3 お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉～

### ■「独居高齢者等見守りサポーター制度の創設」「福祉現場ニーズの集約」による、高齢者見守り体制の構築

#### 《実績》

- 「独居高齢者等見守りサポーター事業」の実施  
75歳以上の一人暮らしの方や75歳以上の方だけでお住まいの世帯、  
計2,047世帯のうち、565世帯〔27.6%〕が訪問を希望
- 介護サービス事業者等の現場ニーズの集約 事業者へのアンケート実施



評価

- ・独居高齢者の数は今後も増加することが予想され、急病時・災害時の孤立化が懸念されることから、これまでの地域の見守り活動と連携を図りつつ、より多くの区民が見守り活動に参加いただけるよう機運を盛り上げるとともに、全市的な課題である災害時要援護者支援の取組とも連携を図り、高齢者一人ひとりの命を守りぬく地域福祉の確立をめざしていきます。

## ～経営課題4 より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求～

### ■「区民巻き込みオペレーションの展開」「災害対策情報の発信」「家具固定グッズ取付け支援」「災害対策アクター(主体)との連携」「東日本大震災被災自治体との連携」による、減災のための取組の強化(事前の備え)

#### 《実績》

- 区民巻き込みオペレーション 出前講座の実施(30回)
- 災害対策情報の発信 平成25年8月号で防災特集号(4ページ分)を掲載
- 家具転倒防止器具取付事業 取付け世帯数200世帯
- 災害対策アクター(主体)との連携  
企業・消防・自衛隊など多様な災害対策アクター(主体)と連携し、  
「興味を持ってもらえる、きてもらえる」訓練について調査・検討  
※「遊びながら防災を学ぼう～あそぼうさいin 四天王寺」  
の創設(平成26年度新規事業)
- 東日本大震災被災自治体との連携  
「災害対策パートナーシップ」の締結(3月) 被災地の状況を伝える取組の実施(6回)



出前講座の様子

### ■「自宅等での被災生活の支援」「防災拠点の充実」による、減災のための取組の強化(被災後の備え)

#### 《実績》

- 被災生活の支援 マンション等集合住宅内に物資の備蓄拠点を設置(3カ所)  
一時避難所にかまどベンチを設置(10カ所)
- 防災拠点の充実 女性のための避難スペースの確保(1カ所)  
福祉避難所の指定(1カ所) 備蓄品の充実(20カ所)  
ハイパワー無線機の配備(20機)



## ■「こどもが被害に遭わないための取組」を通して、こどもの安全安心の確保

### 《実績》

- 「安全教室」を市立8小学校(1年生)で実施
- 「防犯教室」を市立2小学校(全校児童1回、低学年1回、高学年1回)で実施
- 「こどもミニ防犯教室」を区民まつりで実施(4回)
- 子ども安全見守り防犯カメラの設置10台



## ■「迷惑駐輪防止の取組」を通して、だれもが安全で安心して通行できる道路の確保



### 《実績》

- 企業・学校の協力のもと、放置自転車への啓発札の取付、道路上のごみ清掃などの活動を行う「ゆめまちロード」の実施  
寺田町駅2回 桃谷駅1回(雨天中止1回)

## ■「様々なリスクに対処する計画の普及」をはかり、区民の安全・安心を担う総合拠点としての区役所づくり

### 《実績》

- 区防災計画概要版「天王寺区防災ハンドブック」の作成・全戸配布(3月)

## 評価

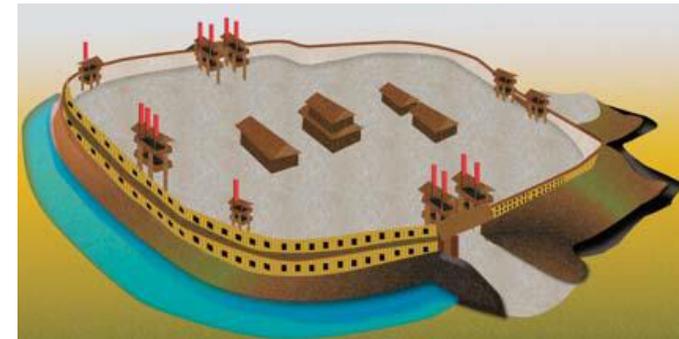
- ・ 減災のための取組において、順調に推移していない成果〔参考：家具の固定率 41% (24 年度は 58%) 目標値は 27 年度に世帯数の 50%〕があったものの、各取組を通じて、区民一人ひとりの「災害対策リテラシー」の強化につながる取組や、マンションと地域とのつながりを創出する取組を着実に進めていることから、今後、区民の自助力・共助力の向上が図られ、減災のための取組の強化につながると認識しています。
- ・ また、こどもの安全安心の確保、放置自転車対策においては、成果は順調に推移〔参考：こどもの安全が守られていると感じる区民の割合 75.2% 目標値は 27 年度に 70% 区内の鉄道駅周辺の放置自転車台数 209 台 (24 年度は 252 台) 目標値は 28 年度に 100 台〕していますが、今後とも、引き続き各取組を通じて区民の安全安心の確保を図っていくことが必要と考えています。

## ～経営課題5 戦略的なシティ・プロモーションの推進～

### ■「戦国博(仮称)の開催に向けた取組」「インバウンド観光推進戦略の立案・推進」による、天王寺のまちのブランド力の強化

#### 《実績》

- 天王寺真田幸村博開催に向け、計画案の作成、予算確保、広報計画の策定、協賛企業等の確保、及び関係区、広域行政との連携の検討・実施〔アイデア応募53件のうち、すぐれたアイデアに関しては企画に反映〕



「真田丸」再現イメージ

- インバウンド観光推進戦略の立案・推進に向け、地元(区民)が抱く区イメージと旅行者(区外在住者)が抱くイメージのギャップを調査(7月)

## ■「JR 天王寺駅北口周辺の商店街の活性化に向けたビジョンの立案」を進め、地域ビジョンを確立

### 《実績》

○現況調査を行い、報告書を取りまとめ(3月)

## ■「グローバルビジネスプランコンテストの実施に向けた調査」を進め、経済振興を推進

### 《実績》

○企画案を作成し次年度予算を計上 ※「グローバルビジネスプランコンテスト」の創設(平成26年度新規事業)



- ・平成 26・27 年度の「真田幸村博」の開催に向けた取組・情報発信を通じて、天王寺区の有する豊富な歴史的・文化的資産に光を当てて、区の魅力を内外に発信できたと考えます。
- ・今後はシティ・プロモーションの強化を図るために、「真田幸村博」の成功に向け全力で取り組み、さらなる魅力の発信に努めつつ、区の玄関ともいえる JR 天王寺駅北口の地域ビジョン策定、起業に向けた取組を進めることにより、多くの人が集い、にぎわいと活力あふれるまちの創出をめざします。

## ～経営課題6 市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」～

■「地域活動協議会の形成及び活動の支援」「コミュニティビジネス化・ソーシャルビジネス化の支援」による、

### 地域での課題の共有と解決へ向けた取組を推進

#### 《実績》

- 中間支援組織と連携して地域活動協議会の活動を支援、また会計学習会や補助金制度説明会などを実施
- 五条公園清掃、寺田町駅駐輪啓発にかかる業務の社会的ビジネス化



公園清掃時の様子



自転車マナー啓発

## ■「地域活動団体の各種活動への参加呼びかけ」「地域活動の活性化への支援」「連携・協働のコーディネート」「地域重要課

### 題解決応援制度」による、多様な協働による地域活動の活性化

#### 《実績》

- 区広報紙(12回)やホームページ(随時)などで9地域の情報発信を行い、地域活動に参加していない住民や転入者に対して参加を呼びかけ
- ホームページなどで他地域の先進的な取組の紹介(随時)や地域活動協議会に交付した公金の使途を公表(2回)、また区の財政的支援を受けて行われるイベント等はその効果[地域住民同士のつながりの拡大]を測るためのアンケートを実施(45回)
- 地域活動協議会間の意見交換会の場の提供(4回)
- 地域課題の解決に資する企画や取組みを広く募集し、事業化を支援(2事業)

天王寺 健康教室



大江 地域清掃活動



聖和 防災ふえすた



五条 親子ふれあいフェスティバル



桃丘 子育て支援サークル



生魂 歳末夜警



桃陽 敬老お祝い会



味原 ふれあい喫茶



真田山 もちつき大会



## 評価

- ・区内全地域で立ち上がった地域活動協議会の活動の支援により、一部地域では社会的ビジネス化の動きが出たり、地域活動への新規参加者が増加するなど活動の活性化が進む一方で、地域コミュニティづくりにつながるとの意識の醸成の点でやや不十分でした。  
[参考] 地域活動時に実施するアンケートで、地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 83.6% (目標値 85%以上)
- ・今後も引き続き、より多くの地域住民が地域に関心を持ち活動への参加が図られるよう、中間支援組織と連携して地域活動に対する支援を行い、活力ある地域社会づくりをめざしていきます。

# 〈まとめ〉

## 自己評価結果の総括

### (1) 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区将来ビジョンに基づく区の目標「みんなの『思い』が区政に反映されているまち」「未来を担う人材が育成されているまち～日本一の文教『都市』の実現～」 「『命を守る政策』がしっかりと進められているまち」「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」の実現を図るため、次の事項を中心に取組を進めました。

- ・ 区政運営にかかる意見や評価をいただくため、「あなたの声をつなげ隊」が子育て支援施策への意見聴取や独居高齢者等を対象にした見守りに関する意見聴取を行いました。

聴取した意見を「子育てスタート応援事業」や「子育てナビゲーション.NET 事業」など新たな子育て支援施策および高齢者の見守り体制につなげていきます。

(次ページに続く)

- ・ 中高校生向けインターンシップや小学生向け社会の仕組みを学ぶ体験学習プログラムなど、未来を担う人材の育成をめざした取組を行いました。

さらに人材育成の取組強化に向け、英語による即興型ディベートスクール事業にも新たに取り組めます。

- ・ 75歳以上の全ての独居高齢者等世帯への訪問を行い、見守りに対する意向を確認しつつ、地域の活動と連携を図りながら見守り体制の構築を行いました。

引き続き独居高齢者等世帯への訪問および意向確認の取組を進め、見守り体制の構築に取り組めます。

- ・ 区民一人ひとりの「災害対策リテラシー」の強化による自助力の向上を図るため、出前講座や広報紙等を通じた情報発信、家具固定グッズの取付支援などの取組を進めました。

さらに「災害対策リテラシー」の強化を図るため、既存の取組を継続しつつ、災害対策アクター（主体）との連携した防災訓練など新たな事業にも取り組めます。

- ・ 多くの貴重な歴史的・文化的資産の効果的な情報発信を図るため、大坂の陣 400 年にあわせた「天王寺真田幸村博」の開催に向けた取組を進めました。

平成 26・27 年度に「天王寺真田幸村博」の開催に取り組めます。

(次ページに続く)

## (2) 解決すべき課題と今後の改善方向

- ・ 区政会議や「あなたの声をつなげ隊」等でいただいた意見の紹介が十分でなく、区政に関する情報の効果的な発信が課題であることから、平成 26 年 5 月号からリニューアルした区広報紙等で発信していきます。
  - ・ 子育て情報が対象とする層に十分に届いていない現状が課題であり、必要な情報をタイムリーに広く発信するため、SNS を活用し、子育てに必要な情報を発信する取組を進めます。
  - ・ 人材育成の取組について、参加者数の拡大およびグローバル時代に対応できる人材の育成が課題であることから、様々な広報媒体を活用した周知を図り、周知の期間を十分確保するとともに、グローバル時代に対応できる人材の育成をめざす「英語による即興型ディベートスクール事業」の取組を進めます。
  - ・ 保育所待機児童が解消しない課題があることから、潜在的な保育ニーズや年度途中に発生する保育ニーズにも対応するため、小規模保育事業の実施など、あらゆる手法により解消をめざします。
  - ・ 減災のための取組の強化が課題であり、「家具転倒防止器具取付事業」では受付方法を改善し、「あなたの声をつなげ隊」など区職員を積極的に活用した出張受付を引き続き進め、取付世帯数の拡大を図ります。
  - ・ 新たな財源の確保が課題であり、講堂等の貸出や広告事業など歳入確保に向けた取組を強化します。
- また、「天王寺真田幸村博」の取組において「六文銭ファンド」の募集を引き続き進めます。

## 《参考》平成 25 年度予算額(決算見込額)

予算額合計 1 億 1,133 万円  
 決算見込額合計 7,453 万円

### 経営課題 1 区民の声集約プロセスの強化

○区政会議	117 万円	(24 万円)
○区民モニター（区政評価員）	165 万円	(156 万円)
○あなたの声をつなげ隊	15 万円	(6 万円)
○広報紙	1,018 万円	(996 万円)

### 経営課題 3 お年寄り 1 人 1 人の命を守り抜く地域福祉

○独居高齢者等見守りサポーター事業	712 万円	(515 万円)
-------------------	--------	----------

### 経営課題 4 より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求

○区民巻き込みオペレーション（出前講座）	71 万円	(65 万円)
○災害対策情報の発信	56 万円	(38 万円)
○家具転倒防止器具取付事業	352 万円	(177 万円)
○被災生活の支援	421 万円	(200 万円)
○防災拠点の充実	603 万円	(450 万円)
○防犯カメラの設置・防犯教室	183 万円	(45 万円)
○迷惑駐輪防止の取組（ゆめまちロードなど）	109 万円	(41 万円)
○区防災計画概要版作成・配付	292 万円	(288 万円)

### 経営課題 2 「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用

○中高生向けインターンシップ	181 万円	(144 万円)
○小学生向け社会の仕組みを学ぶ体験学習プログラム	217 万円	(197 万円)
○天王寺区ジュニアクラブ	34 万円	(26 万円)
○子育てナビゲーション（子育て情報紙など）	63 万円	(35 万円)
○保育サービスの充実（保育所の整備など）	4,264 万円	(2,249 万円)

### 経営課題 5 戦略的なシティ・プロモーションの推進

○天王寺真田幸村博	259 万円	(254 万円)
○ギャップ調査等	374 万円	(98 万円)

### 経営課題 6 市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域づくり」

○地域活動協議会の活動支援	1,594 万円	(1,424 万円)
○地域重要課題解決応援制度	33 万円	(25 万円)